

つかさ会 会報



2021.8月

会員の皆さん、こんにちは。新型コロナウイルスの新規感染者が全国合計で連日1万人を超えるなか、各地で大雨に伴う被害も見受けられ、心配事の多い8月でしたがいかがお過ごしでしょうか。8月といえば、東京オリンピックもありましたが皆様ご覧になりましたか？開催にあたっては様々な意見がありました、アスリートの競技に対する思いを目の当たりにして感動を覚える場面も多くみられましたね。

さて、今月は、4月から当科に入職した松本先生に、「さかえ」の読みどころを紹介させていただきます。

本年度入局しました、松本 聖司と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今月号の『さかえ』の特集1は『心療内科医から見た糖尿病 (p.5)』、特集2は『糖尿病と目の病気 (p.35)』、その他に『新型コロナウイルスワクチンって？ (p.27)』になっております。

世間ではコロナ感染症が続いており連日悲壮な報道が続き、ニュースを見るのも嫌だと気分が滅入ってしまい、なんとなく体調が悪いと感じられ方も多いのではないのでしょうか。そのようなストレスなどにより体に不調を来している方の診療にあたる科が心療内科となります。特集1では、そんな心療内科の先生から見た糖尿病についての解説になります。普段皆様が診察を受ける際にHbA1cが悪化した場合、食事・運動・薬の飲み忘れなどについては良く聞かれるかと思いますが、何か悩みはないですか？と聞かれた方は少ないと思います。しかし、心療内科の先生によると悩みなどがあると糖尿病の悪化にもつながり、逆に糖尿病の悪化も不安など心理面に悪影響を与えるとのこと。最近では明るいニュースが少なく気分も沈みがちですが、そんな時こそご自身の心と体（糖尿病）のためにも、前向きな気持ちで生活していきましょう。

特集2では、2型糖尿病と目の病気について解説されています。糖尿病の合併症を「しめじ」で覚えましょうと聞かれた方は多いと思います。その「め」の病気です。具体的にはどんなものがあるかご存じでしょうか？一番有名なものは「網膜症」です。自覚症状も乏しくある時急激に視力が低下し、すぐに手術をしなければならないという怖い病気です。その他に頻度の多い病気に「白内障」があります。白内障といえば年齢をとるとなる病気というイメージがあると思いますが、糖尿病があると若くても白内障になってしまいます。「かすむ」「ぼやける」「まぶしい」「視力が低下」といった症状が出たら要注意です。

『新型コロナウイルスワクチンって？』には面白い表が載っています。世界で開発されている新型コロナウイルスワクチンの有効率や重症化抑制効果、接種回数などをまとめたものです。よく耳にする「ファイザー、モデルナ、アストラゼネカ」からたまに耳にする「スプートニクV、シノバック、塩野義製薬」、その他初めて目にするようなワクチンまであります。中国製のシノバックでは有効率が調査した地域によって50.7~91.3%まで幅があるのは見ているだけでなんとなく面白く感じてしまいます。

全国での感染者数が日に日に増加するニュースや病床がひっ迫するニュースなどは見ている気分が沈んでしまいますが、同じコロナに関するものでもこのようなワクチンについては興味がそそられる方が多いと思います。今回の記事を書いたことをきっかけに私もこれからは、物事の悪い面ばかり見るのではなく、良い面を探して楽しい気持ちで過ごして、体も健康で過ごしたいと思います。

